第1回草加市みんなでまちづくり自治基本条例 市民検証委員会議事録

- 1 開催日時
平成22年7月8日（木）午後2時30分から午後4時まで
- 2 開催場所
草加市役所本庁舎3階第4委員会室
- 3 出席者の氏名
(1) 委員 高佐智美委員 卯月盛夫委員 後藤純委員 佐谷和江委員
佐々木勲委員 染谷勝之委員 宮本節子委員 進藤紀一委員
加藤栄子委員 江田成美委員 小俣克彦委員
(2) 事務局 みんなでまちづくり課 菅沼課長 後藤課長補佐
藤倉主査 祖伝主事
市民活動センター 上村所長
- 4 会議の議題
(1) 座長・副座長の選出について
(2) 草加市みんなでまちづくり自治基本条例の検証について
(3) その他
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴者数
3人
- 7 審議の概要

【議事】 事務局	<p>(1)座長・副座長の選出について</p> <p>それでは、定刻になりましたので、草加市みんなでまちづくり自治基本条例市民検証委員会第1回会議を開催いたします。</p> <p>草加市みんなでまちづくり自治基本条例市民検証委員会設置要綱 第4条により座長・副座長を出席委員の互選により決めることになっておりますが、どういたしますか。</p> <p>出席委員より、事務局一任の声をいただく。</p> <p>それでは、事務局(案)としまして、座長・副座長の選出になりますが、座長につきましては、条例の検証を進めていくうえで、法規の専門であり、地元の獨協大学の高佐委員を座長にお願いしたいと思っております。</p>
--------------------	---

<p>座長</p>	<p>副座長につきましては、地域の活動に広く見識をもっておられる草加市町会連合会 会長の佐々木委員を副座長にお願いしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。出席委員異議なし。</p> <p>【会議の公開について】</p> <p>はじめに、会議の公開について、委員の皆様におはかりいたします。草加市みんなでまちづくり自治基本条例市民検証委員会設置要綱の第7条によりこの検証委員会の会議を公開としてよろしいでしょうか。出席委員の異議なし。傍聴を許可します。</p> <p>【会議録の署名について】</p> <p>次に、議事録の署名人について2名指名いたします。本日は、委員名簿の順番で、卯月（うづき）委員、後藤（ごとう）委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>(2) 草加市みんなでまちづくり自治基本条例の検証について</p> <p>事務局より資料の説明があります。〔説明者：みんなでまちづくり課 資料説明〕</p> <p>ありがとうございました。只今、事務局より、草加市みんなでまちづくり自治基本条例の検証について、資料の説明がありました。</p> <p>本日の会議につきましては、検証の内容について及び検証の進め方について委員の皆様のご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料8のスケジュールで、次の会議では、第1章から第6章の検証を行うことになっていますが、条例のことがよく分からないため、事前に条例の事を学習する時間がありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学習の場の機会については、委員の皆様が必要であれば、事務局で準備しますが、個別の方が解りやすいということであれば、随時、個別に条例についてご説明させていただきます。</p>

委員	参加委員の条例理解度に温度差があるかと思い質問しました。
委員	資料説明は分かりましたが、条例全体の像がえがけない。条例の内容で、市長の関係・議会の関係・庁内の調整の関係など、色々と書かれており、一つは解かっても全体像がえがけない。条例の検証は、初めてのため個人の問題であれば、条例を学習するが、条例について、携わった委員は条例を解っている方もおり、事務局に委員の構成についてお聞きしたい。
事務局	条例全体の検証については、初めて行うため、ご出席の皆様は、すべて初めての方になります。ただし、この条例に基づき、パートナーシップでまちづくりを進めていく中で、個別の事業の部分について、例えば、ふるさとまちづくり応援基金委員などで関わられている方がおります。
委員	資料7で、今までの委員会にて報告のあった内容で空白の部分もありますが、報告のあった部分を事務局から説明していただき、検証を進めていくのか。
事務局	空白の部分につきましても、庁内検証委員会で議論を加えて、市民検証委員会に報告します。
委員	<p>1章から5章までは理念的なので、最初に検証するのは、難しいのではないかと。今回の検証の内容で、構成の検証と運用の検証、条例検証の方法と3点書かれており、一番分かりやすいのは、条例がどのように運用されているかだと思ふ。6章以降のまずどのように運用されているか実態を報告していただき、検証していければ良いのではないかと。</p> <p>例えば、資料6の16条の審議会委員などの公募の中で、公募実績では、34の報告がありますが、具体的に、審議会が何件あり、公募委員を実施したものと、公募しなかったものを出し、公募しなかった場合の理由と対応を検証する中で、例外規定を作ったほうがいいのかなどを議論していく方が分かりやすいのではないかと。資料8の第1章からの検証からでなく、第6章からの検証</p>

委員	<p>が良いのではないか。</p> <p>みんなでまちづくり会議等の検証では、第7章、第8章で、みんなでまちづくり会議等の課題を整理しました。提案はしたが、その後どうなるのか、みんなでまちづくり会議は意思決定の場なのか、話し合う場なのか、話し合うだけなら、このメンバーでよいのか、正当性をどうするのかなどの課題と1つの方向性を出しました。</p> <p>昨年、草加市の地区まちづくり団体について、瀬崎地区などの9地区がありますが、地区の課題について、どこで詰まっています、どういう仕組みが使いづらいのか整理しました。</p> <p>今後の課題として、NPOとボランティアの方が、どのような意向を持っているのか、町会・自治会の関わり方、地区まちづくりで関わっている町会・自治会もありますが、市民側として第7章、第8章をもう少し議論していく方が良いのではないか。その中で、瀬崎地区では、市民の提案で、ふれあい親水緑道を整備してきましたが、中期計画の水と緑を育む中に、ふれあい親水緑道事業の位置付けがどうなっているのかが詰まっているのではないか。そういった課題を一つのたたき台にして検証出来れば、条例では、第6章説明責任応答責任で、どのようにしたら市民に伝わりやすい解りやすい応答になるかに話を広げて抽象的な方に進め、解りやすくまんべんなく均等に1章から検証するのは難しいと思うので、部課の課題があれば良いのではないか。部課の課題を一通り検証していき、検証した内容の再検証が5回目6回目にあるので、全体としてどうするのかと戻っていくのはどうでしょうか。</p>
委員	<p>私は、新宿区で、すべての事業を評価する委員会に参加しております。新宿区では、内部評価と外部評価があり、この検証も内部検証と外部検証があり、最初から外部ですべての事業あるいは条例を検証することは難しく、各章各条それぞれ職員が条例に基づいて、内部評価をしていただき、内部評価を市民側で、外部評価したらどうでしょうか。委員のお話にもありましたが、7章8章は特に重要だということで、みんなでまちづくり会議等の検証</p>

	<p>などを行っていることから、内部評価をまたずに、できるところから共有していく方法もある。</p>
事務局	<p>進め方につきましては、特に運用に係る部分を先に検証しながら、抽象的な部分まで広げていくということで、よろしいですか。</p>
座長	<p>それでは、第2回、第3回は、第6章、第7章、第8章で具体的な事例の検証を行い、それを踏まえて、第4回で理念や抽象的な検証を行い、第5回第6回で再検証していくことで進めていき、疑問点がでてきたら、その時点で改めて検討していきます。</p>
委員	<p>話を戻してしまうかもしれないが、自治基本条例が、地方自治体の憲法としているが、自分たちに感覚がない。自治基本条例によって、自分達が生活したり、何か活動していくことで、何が問題なのか、どこに影響するのかが見えてこない。そこで、検証することが具体的にでてきたとしても、これが草加市の憲法に値するものだから、制約が出てくるものなのか。あくまでも概念的なものなのか。まちづくりを進める上で、みんなで仲良くやりましょうという話ではないと思う。自治基本条例の目的で、「みんなで良いまちを作りましょう。」は分かるが、理念の中で、どのように活動していけばよいか見えてこないし、どのように活用していいかも見えてこない。自治基本条例に携わっている玄人の方は、良い条例だと分かるかもしれないが、一般の人には、「絵にかいたモチ」で、どんなに素晴らしくても理解していない。一般の人が、まちで活動しているときに、自治基本条例の話が出てこない。「これは何だ。」と思い興味があったので公募しました。検証して行くのなら、その部分を変えられるのなら変えてみたいとの思いで参加しましたが、実際にどんなに素晴らしい条例でも、私たちがまちで活動して行く上で、「これは、こうだからやめましょう」とか日本の憲法9条のように、「戦争はしてはいけません。」のような感じのとらえ方はできない。こういう活動をしてはいけませんとは書いてないし、良い活動をするために、条例があるかもしれないが、その良い活動をするためにどう生かす</p>

	<p>れる条例なのか、一般の市民には、説明が足りないのではないか。</p>
委員	<p>同じ意見であるが、一般の市民には知られていない。まちづくり自治基本条例は、市民のために市民が作る条例であって、ある程度のルールがある簡素化した条例が一般にあっていいのではないかと思う。条例は作っただけで終わってしまう。一般の市民には、私達が作り市議会で認めていただいた条例を目にすることがなく残念である。条例を作るのもいいが、分かりやすく条例を一般の人に知ってもらえば良いのではないか。条例の中で、色々な制度があり、「何だろう」というところから検証していくものだと思います。</p>
座長	<p>それでは、今のご意見では、この条例の存在意義そのものを検証していきたいのか。</p>
委員	<p>検証するというか、6年前から他の自治体にさきがけて草加市には、素晴らしい条例ができましたというが、何が素晴らしいのかが分からない。</p>
座長	<p>素晴らしいかどうかは、この検証委員会で検証できれば良いのではないか。本当に素晴らしい条例なのか、存在の意義があるのかを具体例を踏まえて次回から検証できればいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>分かりました。それを進めていくうえで、自分達が、まちづくり自治基本条例をつかみ切れていない。</p>
事務局	<p>事務局の事前説明が足りないことがあり、その部分については、お時間を頂ければ、本日は雑駁な説明になってしまいましたが、条例の概略も含めて、ご説明を改めてさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>この条例を普及させようと、2、3年前から活動をしています</p>

が、何が素晴らしいかという、市民に直接の提案権を与えている条例であり他にはなく、みんなでまちづくり会議が上手になぜ進まないかで、前回、みんなでまちづくり会議等検証委員会で後藤委員と検証を行った。みんなでまちづくり会議の会議内容によっては、行政ルートが決まらず、「本当に自分達がやった実感がつかめない。」「自分がまちづくりに参画している特別な意識を持つことも少なかった。」という反省が、前回のみんなでまちづくり会議等検証委員会の中で話があった。5年間広がっていかなかった原因は何だろう。条文なのか、今回検証をして行くことで、自治基本条例が機能していけば、個人の提案権を認めていただいているので、例えば、市議会議員の要件を市民が集めて提案を行い、市議会議員には、もっとうへの活動をして欲しい。ふるさとまちづくり応援基金のお話にもありましたが、ふるさとまちづくり応援基金と自治基本条例と一緒にスタートしなかったために、自治基本条例に書かれていることが、正確に伝わっていない。ふるさとまちづくり応援基金を利用した方も、この自治基本条例では、みんなで考える、まちづくり登録員になっていただき、みんなでまちづくり会議が利用されて、みんなでまちづくり会議で決定する場なのか、論議する場なのか、先に進めることだと思います。来週、宮本委員と札幌市に研修に行きます。札幌市では、平成18年に条例ができて、もう、今年全国から人を集めて、事例発表をするところまで来ており、私は、草加市に何が足りないのかが知りたくて参加してきます。今日は、個々に資料を読んでいただき、委員の考え方に差があると良い議論ができないので、分かりあったところで、議論していきたい。みんなで幅を狭めていければ会議として良いのではないかと。

委員

今回は、事前に資料をいただいて、自宅で資料を把握してから参加します。目に見える具体的な例から検証出来れば良いと感じました。

委員

先程のお話は、とても重要なことで、内部評価、外部評価の話をしました。もう一つの視点ですが、まちづくり条例が進んでいる世田谷や横浜をお手伝いしていて、ごく一部の熱心な人にし

か知られていない。10年やっていて、熱心な方は、どんどん進んでも、裾野は広がっていないと批判がある。例えば、7章8章の問題点をより高めようとする、熱心な人たちの思いをより良い形にするためのものだけど、裾野を広げる話にはならない。内部評価を検討しても裾野は広がらない。「内部評価を見ましょう。」「みんなでまちづくり会議をやりましょう。」とはもう1つ別の視点で、もし、まちづくり条例が次の5年間10年間で、裾野を広げようという課題を皆様がお持ちであれば、例えば、日々の生活に関係がないと思っている人が多いとか、町会の話聞いていて思ったのですが、町内会や商店会がどのようにまちづくり自治基本条例に関わっているのか、今はどちらかというと、町内会や商店会に属している方でも、その組織とは別に活動しているタイプを奨励していて、「町内会をどうする。」という話が、あまり書いていないのではないかと。どちらかというと市民活動と町会・自治会の伝統的な旧来の組織とは別で、もし草加市みんなでまちづくり自治基本条例がまさに、みんなのまちづくりを考える裾野を広げるための何かをここで、1回2回でも考えられたら良いのではないかと。もし、そうだとしたら、みんなでまちづくり自治基本条例の中に書かれている住民投票とか、あるいは、こんなことが、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に書かれていますか。と市民に対するアンケートを行い、「基本条例を知っていますか？」ではなく、中身を噛み砕いた質問を、裾野が広がっていないことを認識して、かつ将来、草加市みんなでまちづくり自治基本条例のためにどうすれば良いかを、全く新たな提案として検証委員会でもやることも可能だと思います。

委員

地区まちづくり推進事業の19条の関係で言うと、やはり、どこの地区まちづくり団体も、裾野を広げることができず、ここ2、3年、同じメンバーで活動しており、最初は、やる気があって活動していても、そろそろ後継者にうつりたいとの話がありました。前回のみんなでまちづくり会議等検証委員会の時には、検証とは別の話になってしまっていますが、どうやって普及させるか、どういう使われ方をしていて、どのように使うと便利か、説明する機会をつくらないといけない。

委員	<p>検証委員の中身そのものを知らないままで、委任をされていて、検証委員会に来ているから、前に話しが進まない。事務局側も、検証内容について、具体的に説明をしていただいでからでないと先に進めない。</p>
事務局	<p>重ねてお詫び申し上げます。頂いたご意見は反映してまいります。お時間をいただいて、基本的なこれまでの情報については、お伝えさせていただきます。</p>
座長	<p>今回はスケジュール通りでよろしいですか。内容につきましては、先ほど市民活動の歴史とかの問題がありましたが、まずは、具体的な話からとのご意見がありましたので、今回は第6章、第7章、第8章から具体的な資料をたたき台にして、多少議論が前後してもかまわないので、柔軟に進めていきたい。今回の資料は、事前に配布できますか。</p>
事務局	<p>庁内の検証を何度か行いまして、第6章を含めて、7章8章に抱えている課題と委員のお話にあった内部評価の資料をまとめて、事前に配布させていただきます。</p>
座長	<p>それでは、本日は、顔合わせもあり、何が問題なのかということも、共有することができましたので、本日の資料を読んで頂いて、今回の資料は、事前に届くそうなのでよろしくお願い致します。</p> <p>次にその他ですが、今回の会議予定につきましては、事務局より日程の調整後、連絡させていただきます。</p>
事務局	<p>スケジュールにもありますが、早めに委員の皆様の日程調整をさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p>

署名委員 卯月 盛夫

署名委員 後藤 純